

OAMP サーバを使用できないときの CVP レポート サーバでのデータベース削除スケジュールの設定。

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。](#)

概要

このドキュメントでは、OAMP (オペレーション コンソール) サーバが使用できない場合に、CVP (Cisco Unified Customer Voice Portal) レポート サーバでのデータベース消去のスケジュール手順について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified Customer Voice Portal (CVP)
- オペレーション コンソール (OAMP)

設定

通常のデータベースのスケジュールの手順 (ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン)

ステップ 1 : [Device Management] > [CVP Reporting Server] を選択します。

ステップ 2 : レポート サーバ の名前が付いたリンク、またはその前にあるオプション ボタンをクリックしてレポート サーバ を選択し、[Edit] をクリックします。

ステップ 3 [Edit Reporting Server Configuration] ウィンドウで、ツールバーの [Database Administration] メニューを選択し、 [Data Delete] を選択します。

ステップ 4 [Reporting Server] - [Data Delete] ページで、各データ カテゴリの [data retention time] を変更します。

ステップ 5 : 各日に消去を実行する時間と分を選択します。 これにより、プライマリ (夜間) 消去を指定し、12 時間後に実行する日中消去を設定します。

ステップ 6 : [Informix Password] を入力し、 [Save & Deploy] をクリックします。

Server Information

IP Address:

Hostname:

Data Delete

Informix Password: * ¹

Configure the data retention time for categories of data.

Data Category	Retention Period (days)
Call*	<input type="text" value="30"/>
Call Event*	<input type="text" value="30"/>
Callback*	<input type="text" value="30"/>
VoiceXML Session*	<input type="text" value="30"/>
VoiceXML Element*	<input type="text" value="15"/>
VoiceXML ECC Variable*	<input type="text" value="15"/>
VoiceXML Voice Interact Detail*	<input type="text" value="15"/>
VoiceXML Session Variable*	<input type="text" value="15"/>
VoiceXML Element Detail*	<input type="text" value="15"/>
Trunk Utilization Usage*	<input type="text" value="30"/>

Set the time for running data delete: Hour: Minute:

* Required.

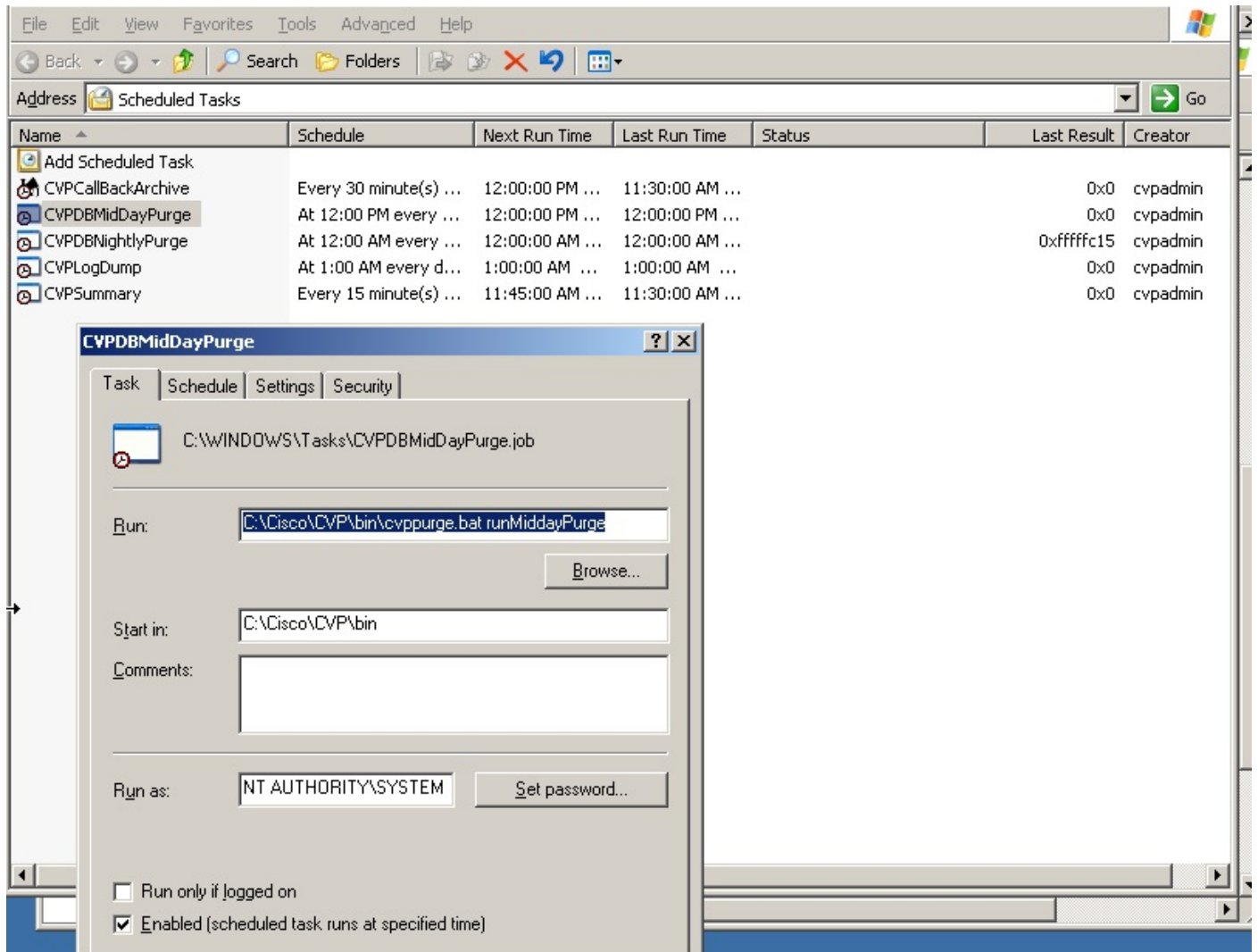
¹ Informix Password is required for retrieving or deploying the Unified CVP Reporting Server retention period configuration.

OAMP コンソールなしで CVP レポートサーバーのデータベース消去時刻を変更する

ステップ 1 : レポートサーバーのインストールにより、ウィンドウ バッチ ファイルの **CVPPURGE.BAT** が **C:\Cisco\CVP\bin** ディレクトリに作成されます。 このバッチ ファイルは、データベース消去プロセスを起動するため、Java バックエンド コードを実行します。これはまた、各 CVP レポートサーバーのウィンドウ スケジューラを介して実行するようスケジュールされます。

呼び出します。 レポートサーバーは、**CVPDBMidDayPurge** と **CVPDBNightlyPurge** の 2 つのウィンドウ スケジュール タスクを提供します。 通常のデータベースのスケジュールの手順のステップ 5 で説明したように、それぞれのタスクが日中消去と夜間消去のアクティビティに対応します。

ステップ 3 両方の消去とも、同じ CVPPURGE.BAT ファイルを使用しますが、異なる削除アクティビティのバッチ ファイルには、異なるパラメータが入力されます。またデータベースを消去する時刻は、個別のレポートング サーバのウィンドウ スケジューラ タスクを通して変更できません。



確認

トラブルシューティング